



# しょうき 鍾馗さん Q & A

鍾馗さんの謎にせまる！

## Q. そもそも鍾馗さんの由来は？

**A.** 中国の唐の時代に実在した人物といわれています。科学に不合格となり、自殺してしまいましたが、高祖皇帝に手厚く葬られます。後の時代、病に伏す玄宗皇帝の夢枕に現れ、玄宗を悩ませていた鬼を退治します。すっかり病が治った玄宗は、夢に出てきた鍾馗の姿を絵師に描かせました。このような伝説から、鍾馗さんは魔除けとして信仰を集めるようになったのです。

## Q. 彦根の鍾馗さんはいつごろ作られたもの？

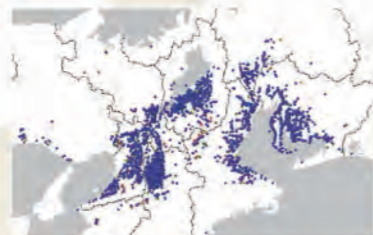
**A.** 所有者に尋ねても年代が特定できないことが多いのでわかりませんが、ほとんどは明治から昭和にかけてのものだと思われます。また、古い家でも屋根を葺き替えたときに鍾馗さんを新しく置いたり、新しい家でも建て替え前からあった鍾馗さんをそのまま使い続けたりしている場合があり、建築の年代と一致しないことがあります。

## Q. 最初に瓦の鍾馗さんができたのはいつ？

**A.** 江戸時代後期の文化・文政年間です。京都のある女性が病気がなったとき、向かいの家の恐ろしい鬼瓦のせいだということになり、鍾馗さんを屋根にのせたところ病気が治ったという話が伝わっています。年代が確認できる現存最古の鍾馗さんは、近江八幡市のかわらミュージアムにあり、文政11(1828)年の銘が入っています。

## Q. 全国に分布しているの？

**A.** 京都を中心に、奈良、滋賀、大阪、三重、愛知などでたくさん発見されています。滋賀県内では、湖東・湖南に広く分布していますが、湖北・湖西ではほとんど見られません。一方、関東や四国、九州でもわずかながら確認されています。



(小沢正樹『鍾馗さんを探せ!!』より)

## Q. 彦根と京都の鍾馗さんの違いは？

**A.** 彦根ではお寺の近くに集中していますが、京都ではお寺と関係なく、たくさんの町家にあります。京都市内だけで3000体くらいあると推定されています。彦根の鍾馗さんは屋根のてっぺんにあることが多いですが、京都では1階の屋根にあり、通りからよく見えます。

## Q. 鍾馗さんはどんなところによくあるの？

**A.** お寺の近くです。お寺の屋根についている立派な鬼瓦は、魔除けの役割を果たしています。すると、鬼瓦によって除けられた“魔”は、近くの民家にふりかかってしまいます。それをね返すために、お寺の近くの民家に鍾馗さんが置かれているのです。

## 「ぶらひこねプロジェクト」とは？

まち遺産ネットひこねは、彦根のまちに残る歴史的な遺産を再発見し、紹介していく市民団体です。2012年度は「ぶらひこねプロジェクト」と題して、彦根のまち歩きを発信していきます。第1弾「鍾馗さんマップ」に続く第2弾として、「彦根城外堀マップ」を制作します。

### 情報求ム！

まだまだ未発見の鍾馗さんがあるかもしれません。鍾馗さんに関する情報を、まち遺産ネットひこねホームページまでお寄せ下さい。

[http://www.geocities.jp/machiisan\\_hikone/](http://www.geocities.jp/machiisan_hikone/)

### 彦根までのアクセス

電車でお越しの場合 電車をご利用の場合、電車でJR彦根駅下車が便利です。

大阪	京都	彦根	米原	名古屋
29分	21分	27分	5分	27分
新快速・77分		新幹線と快速・32分		
<small>乗り換え時間を含みません。</small>				

お車でお越しの場合 お車をご利用の場合は名神高速道路彦根ICをご利用ください。

大阪	彦根	名古屋
102km	88km	
約1時間40分	約1時間10分	

2012年11月17日 初版発行

監修 小沢正樹  
制作 まち遺産ネットひこね  
(文・写真 鈴木達也)

### 参考文献

小沢正樹『鍾馗さんを探せ!! 京都の屋根のちいさな守り神』(淡交社、2012)  
坂出祥伸『日本と道教文化』(角川選書、2010)  
窪徳忠『道教の神々』(講談社学術文庫、1996)

このマップは、湖東定住自立圏の平成24年度地域創造事業の助成を受けて作成いたしました。調査にご協力いただいた所有者の皆様、情報を提供して下さった皆様へ御礼申し上げます。



ぶらひこねマップ コース1

## しょうき 鍾馗さんとは屋根の上の小さな守り神

「鍾馗」とは、中国からやってきた道教の神様です。京都をはじめ近畿・東海地方では、瓦でできた小さな鍾馗の人形を屋根の上にのせる習俗があります。鍾馗は魔除けの力があるとされているので、家の守り神として大切にされているのです。わたしたちは、親しみをこめて「鍾馗さん」と呼んでいます。



## 鍾馗さんを探しに町へ出よう！

彦根市内では、いまのところ、約70体の鍾馗さんを確認しています。このマップでは、その中でも歩いてまわられる範囲にある鍾馗さんを紹介します。

屋根の上に小さくのっているだけなので、近くを通ってもなかなか気づかないかもしれません。それだけに、まるで宝探しをしているかのような楽しさがあります。マップを片手に、今まで知らなかったまちの魅力を再発見しに出かけましょう！



# ひこねしょうき 鍾馗さんMAP

屋根の上の守り神

彦根のまちには鍾馗さんがいっぱい！  
お寺の周りや、普段は歩かない細い路地を散策して、  
屋根の上の小さな「まち遺産」を発見しましょう。



## しょうき 鍾馗さんを見つけるコツ



**1 お寺の近くを重点的に**  
お寺のまわりには、鍾馗さんがある可能性あり！特に彦根はお寺の近くの鍾馗さんが多いので、周囲の民家を入念にチェックしましょう。

**2 屋根のてっぺんをしっかりと見る**  
民家から少し離れて歩いて、屋根のてっぺんまで見ないと鍾馗さんは見つかりません。ただし、上ばかり見て転ばないように、足元にもご注意を！

**3 デジカメや双眼鏡が必需品**  
鍾馗さんは小さいので、鍾馗さんなのか、屋根にカラスがとまっているだけなのか肉眼では分からないことがあります。双眼鏡で見るか、デジカメで撮影して拡大するかして確認しましょう。

※鍾馗さんは個人の持ち物です。マナーを守って散策しましょう。